

本市では新学習指導要領の目標である「外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成」に向けて、さまざまな取り組みを行い、小学校卒業時点で英語による対話やプレゼンテーション、中学校卒業時点で英語によるディスカッションができるよう、質の高い外国語教育をめざしています。

進めています！

外国語の小中一貫教育

外国語教育ガイドブック

今年度、小学校・義務教育学校前期課程で新しい外国語教育が始まりました。その中で、子どもたちが外国語にさらに興味を持てるような授業づくりができるよう、教員向けのガイドブックを作成し、すべての学校で活用しています。



CAN-DOリスト

外国語教育は、どのような力を身に付けるのかを明確にすることが重要です。学んだ言語を使って「〇〇することができる」という目標を学習段階ごとに整理したCAN-DOリストを作成し、すべての学校で9年間を見通して活用しています。

公開授業研究会

外国語教育の充実と授業改善の推進をめざし、小中学校および義務教育学校の教員合同での公開授業研究会を開催しています。また、大阪府より配置されている英語コーディネーターの日ごろの授業を公開し、教員がいつでも授業を参観でき、授業などにおける指導の相談などを受けられる体制をとっています。



さらにSTEP UP！

主な外国語教育推進の取り組み

英検IBAテスト

英検のプレテストとして位置付けられている団体受験専用の試験で、市内全中学2年生・義務教育学校8年生を対象として毎年1月～2月に実施しています。また、試験結果を分析し、生徒一人一人の英語力向上のためのPDCAサイクルを確立しています。

英語スピーキングコンテスト

日ごろの成果発表の場として英語を話す機会を設けており、昨年度までは「英語暗誦大会」を実施していましたが、これからの外国語教育において、よりコミュニケーションが重視されることから、今年度より「英語スピーキングコンテスト」と内容を変更して実施しています。



NET（英語指導助手）

子どもたちがNETの母国の生活や文化を知ったり、英語を実際に使ってコミュニケーションすることにより、英語に対する学習意欲や知識・技能の向上をめざすため、ネイティブの英語指導者が授業の補助に入っています。



授業を動画配信

中学校英語教員が中心となり、市内のすべての中学生が使えるような動画を作成し、八尾市教育委員会YouTubeチャンネルで配信しています。家庭学習としても利用できます。



▲教育委員会  
YouTube  
チャンネル

